

2023年6月17日  
2023年度女性労働学校(後期)

# 今と将来に備えるための “じちろう共済”

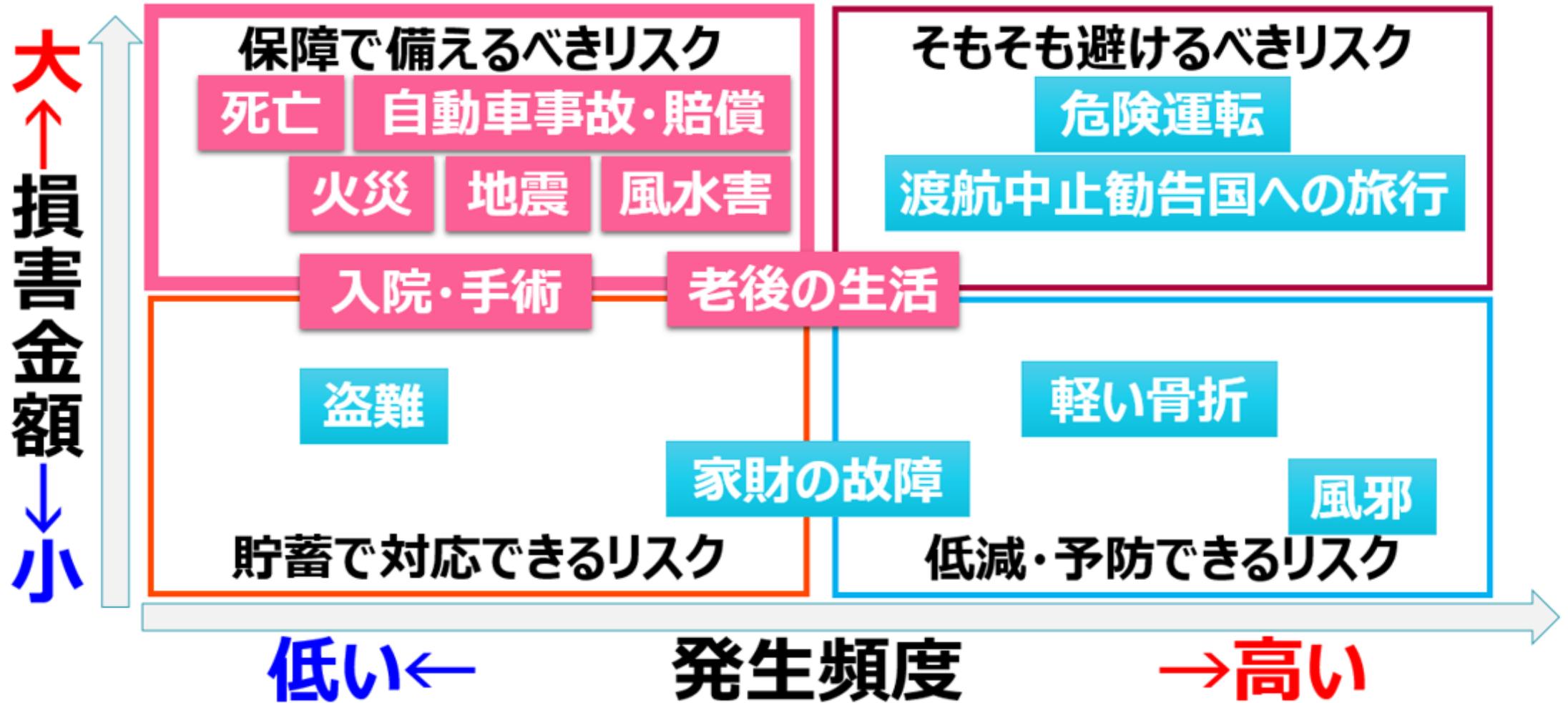
総合組織局（本部共済推進委員会事務局）

矢吹 欣徳  AFP  
Affiliated Financial Planner

AFP（日本FP協会認定）

当資料は複製・複写を固く禁じます。また、当資料を使用するの募集行為は一切行えません。

# 1. 私たちを取り巻くリスク



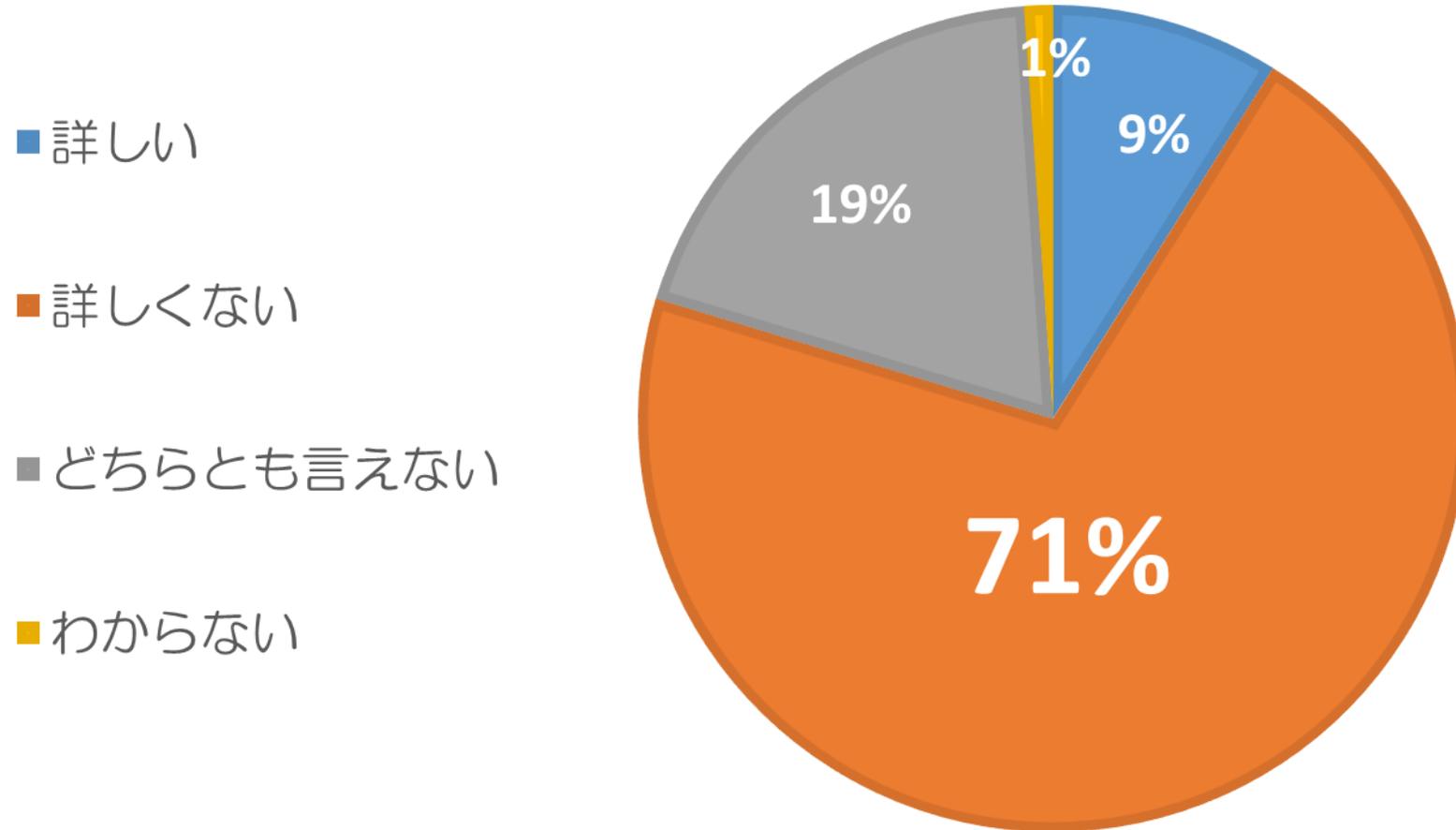
発生頻度が低くても損害が大きいリスクには備えが必要

# じちろう共済の主な制度ラインナップ

保障で備えるべきリスク	じちろう共済の制度ラインナップ
<b>死亡</b> <b>入院・手術</b>	<b>団体生命共済</b> 団体定期生命共済・個人賠償責任共済 <b>じちろう退職者団体生命共済</b> 団体定期生命共済
<b>老後の生活</b>	<b>長期共済</b> 在職中：新団体年金共済 退職後：新団体年金共済 個人年金共済 個人長期生命共済 終身生命共済 <b>税制適格年金</b> 新団体年金共済
<b>自動車事故・賠償</b>	<b>じちろうマイカー共済</b> 自動車総合補償共済 <b>自賠償共済</b> 自動車損害賠償責任共済
<b>火災</b> <b>地震</b> <b>風水害</b>	<b>住まいる共済</b> 火災共済・自然災害共済 風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

生命・医療保障から自動車事故・住宅災害まで幅広くカバー

## 2. 生命保険に関する知識【全年齢】



出典：生命保険文化センター「生活保障に関する調査／令和4年度版（速報）」

### 3. 日頃の生活や将来に向けて不安なこと



自分が病気や事故にあうこと：58.6%



自分の介護が必要となること：46.1%



老後の生活が経済的に苦しくなること：43.8%

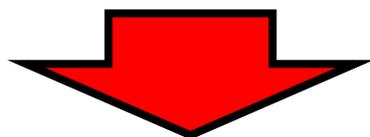
出典：生命保険文化センター「生活保障に関する調査／令和元年度版」



## 4. 正しい情報提供

さまざまなリスク・将来不安があるからこそ、**情報提供！**

公的保障、職場内保障の情報なし

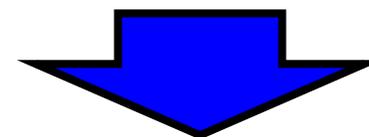


必要以上の保険金融商品で備える

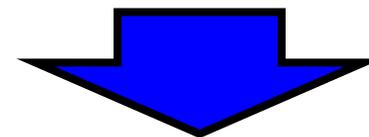


支出増 = 余裕資金減

公的保障、職場内保障の情報あり



必要保障分だけ備える



支出減 = 余裕資金増



# 現在の生活費（支出）を再確認しましょう！

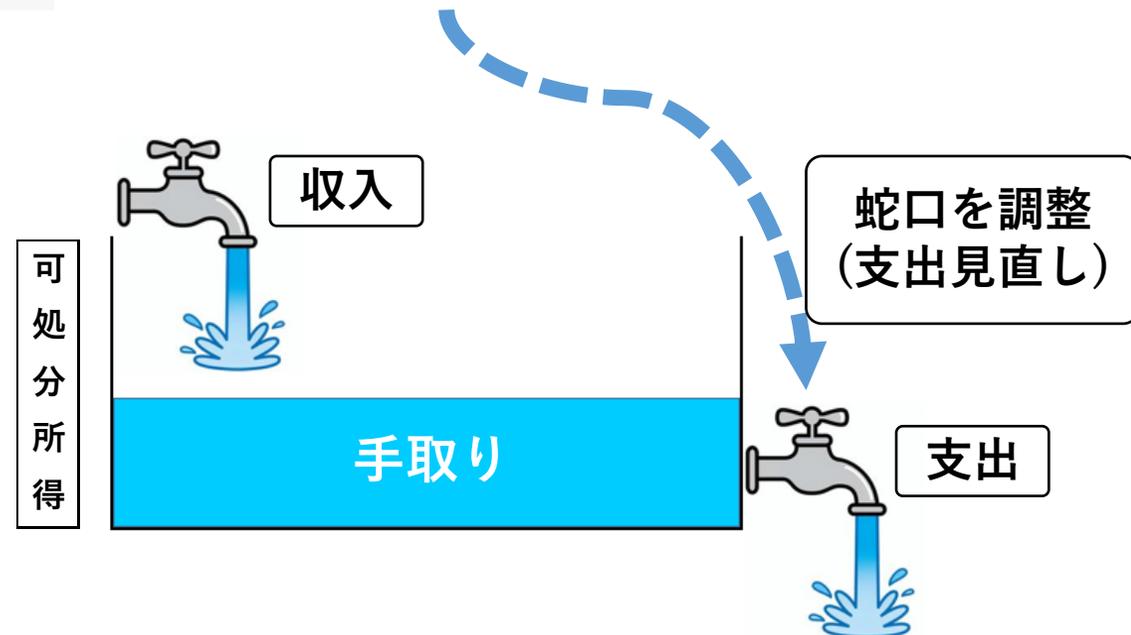
- ①住居費
- ②住宅ローン
- ③食費
- ④通信費
- ⑤光熱・水道費
- ⑥交際費
- ⑦教育費
- ⑧保険料（生命・損害保険）
- ⑨ローン（住宅ローン以外）
- ⑩貯蓄
- ⑪その他（諸税、被服費など）



固定支出と変動支出を確認

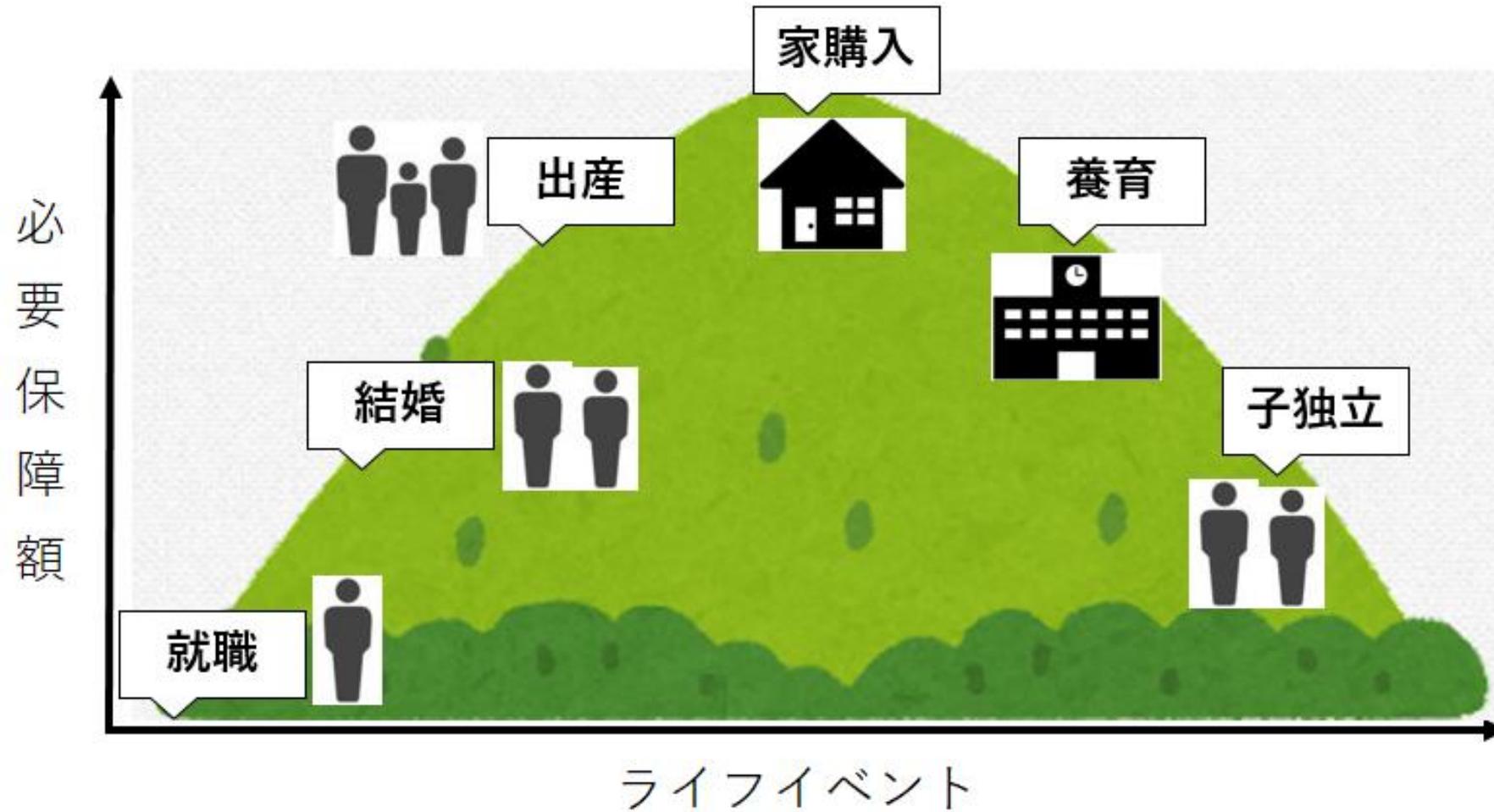


調整可能な支出を確認





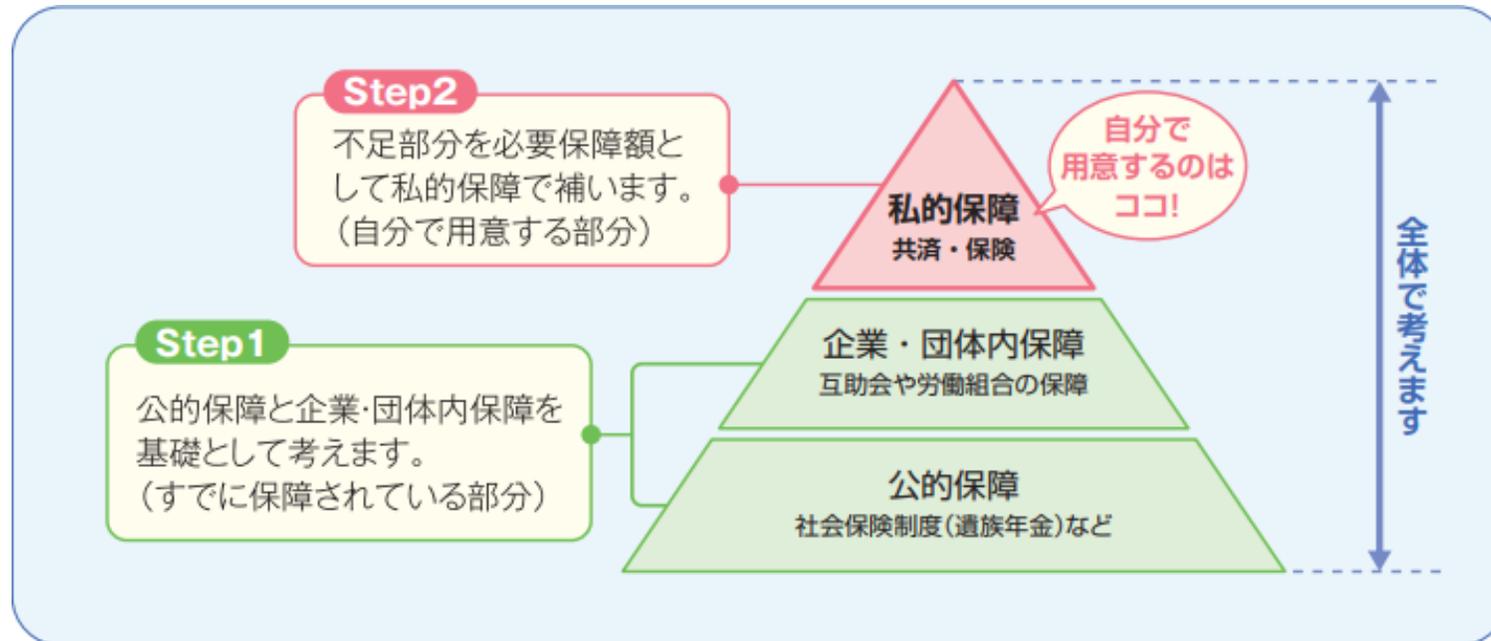
# 必要保障額は、ライフイベントで大きく変わる！





# 保障の考え方をしっかり理解しましょう！

- ①取り巻くリスクの確認 ⇒ 予防・軽減・回避するための対策
- ②すべてのリスクに対する保障を「私的保障」だけで補う必要なし
- ③「公的保障」「企業・団体内保障」がベース ⇒ 足りない部分が必要保障額
- ④必要保障額を「共済」や「保険」で備える





# どのくらいの生命・医療保障が必要なの？

## ① 経済的リスクを考える

- 障がい・介護 > 死亡 > 病気・ケガ
- 亡くなるよりも重たい障害を負ったときの経済的負担…
- 自動車ローンなどが残っていると…

## ② 健康保険や地方職員共済組合・市町村職員共済組合の短期給付を考慮

- 高額療養費制度と短期給付で最終的な医療費自己負担額は、25,000円
- ただし、入院中の食事代（1食460円）、差額ベッド代、諸費用（TV視聴カード、各種消耗品、家族の食事代など）は自己負担…

## ③ 単身者（とくに若年層）に高額な保障は不要

- 何も知らない単身者に高額な死亡保障をすすめる〇〇もあるけど…

## 5. じちろう共済の活用＝組合員利益の最大化

- ① **団体生命共済**で、死亡・重度障害、入院、通院、手術、がん診断、先進医療等の保障を割安な掛金で備える。
- ② **長期共済・税制適格年金**で、退職後の保障（とくに年金給付）に備える。
- ③ **じちろうマイカー共済**で、自動車事故による損害補償を団体割引適用の割安な掛金で備える。

面倒だと思っても生命保険・自動車保険の見直しを！  
この一歩を踏み出すかどうかで支出が大きく変わる！かも

## ★在職中の生命・医療保障は『団体生命共済』

- ①団体生命共済は、**毎年見直しができる**ので、ライフイベントなどにあわせて『**ムリ・ムダのない保障**』選択可
- ②障がいを負ったとき、**障害等級の範囲と支給割合が高い**
- ③ケガの場合、**入院を伴わない5日以上の通院**や**固定具の装着期間\***を**通院とみなして給付**
- ④帝王切開は、**手術共済金の最高倍率**で給付

※傷害の部位、固定具の種類、装着期間によって対象外とならないものがあります。

<参考：団体生命共済と一般的な民間保険の保障範囲>

	死亡保障	病気入院保障	ケガ入院保障	成人病入院保障	通院保障	手術保障	がん診断保障	先進医療保障
団体生命共済	●	●(180日)	●(180日)	●(5大)	●	●	●	●
一般的な民間保険	●	●(60日)	●(60日)	●(3大)	—	●	●	●

# ★車を所有or購入予定があるなら『じちろうマイカー共済』

最大の特長は、

## ①弁護士費用等補償特約

組合員の身分を守るため、起訴前から

弁護士が全力で対応

※もちろん、所属の組合もバックアップ。

## ②団体割引

同居の親族（父母、配偶者、子など）が

所有する車OK

人身事故を起こせば刑事事件！  
過失運転致死傷罪として7年以下の懲役もしくは禁錮，または100万円以下の罰金が科されることとなります。  
※条例に特別な定めがある場合を除く（分限条例）



《組合員の助け合いの成果》

組合経由の加入で  
**団体割引**  
**32.5%**適用

掛金体系の変更による職域掛金廃止に伴い  
団体割引率変更！😊

団体割引は多くの組合員の利用と安全運転に支えられています。

※団体割引率32.5%は2021年11月以降の更新契約（新契約は効力開始日2021年10月契約）から適用されます。  
※団体割引適用の場合であっても、車種や燃費内容により割引率が異なる場合があります。また、適用される割引率は、毎年11月末時点の実績により変動することがあります。

# ワンポイント・アドバイス



民間の自動車保険に付帯できる「弁護士費用特約」って？

この特約は、被保険者（補償対象者）が被害事故に遭い、**相手方へ損害賠償請求するときの弁護士への相談・委任費用**を補償するというもので、**加害事故は補償対象外**です。

## ★ 若年層 Young adults

★スズキ ハスラー 運転者年齢21歳 無事故割引8等級の場合

	標準型*	車両損害補償 エコノミーワイド	合計(年払掛金)
団体割引 32.5%だから	43,340円	+ 16,620円	= 59,960円
団体割引 0%だと	58,490円	+ 23,020円	= 81,510円
<b>差額</b>	<b>15,150円</b>	<b>6,400円</b>	<b>21,550円</b>

試算条件  
●スズキハスラー(型式:MR92S) ●初度登録年月:2021年10月 ●適用等級:8等級(事故無)  
●運転者年齢条件:21歳以上補償 ●主たる被共済者年齢区分:なし ●**車両損害補償タイプ:エコノミーワイド**  
●車両共済金額:170万円 ●**車両自己負担額:10万円** ●付随諸費用補償:あり ●運転者本人・配偶者限定特約:なし  
●新車割引:あり ●AEB割引:あり ●ハイブリッド割引:あり ●その他特約・割引:なし

車両損害補償タイプの  
選択と自己負担額の  
設定でも掛金負担を  
軽減できるんだね!

年払掛金で  
**21,550円**  
おトク!



こくみん共済coop (全労済)  
でも、職域加入と地域加入で  
これだけ違う!

まずは、  
見積もりをしてみよう!

## ★ ミドル層 Middle age

★トヨタ ヴォクシー 運転者年齢35歳 無事故割引17等級の場合

	標準型*	車両損害補償 一般補償	合計(年払掛金)
団体割引 32.5%だから	17,400円	+ 30,820円	= 48,220円
団体割引 0%だと	23,580円	+ 42,690円	= 66,270円
<b>差額</b>	<b>6,180円</b>	<b>11,870円</b>	<b>18,050円</b>

試算条件  
●トヨタヴォクシー(型式:ZWR90W) ●初度登録年月:2022年1月 ●適用等級:17等級(事故無)  
●運転者年齢条件:35歳以上補償 ●主たる被共済者年齢区分:30歳以上40歳未満 ●車両損害補償タイプ:一般補償  
●車両共済金額:390万円 ●車両自己負担額:なし ●付随諸費用補償:あり ●**運転者本人・配偶者限定特約:あり**  
●新車割引:あり ●AEB割引:あり ●ハイブリッド割引:あり ●その他特約・割引:なし

運転者を限定する  
ことで割引も適用  
されるのね?

年払掛金で  
**18,050円**  
おトク!



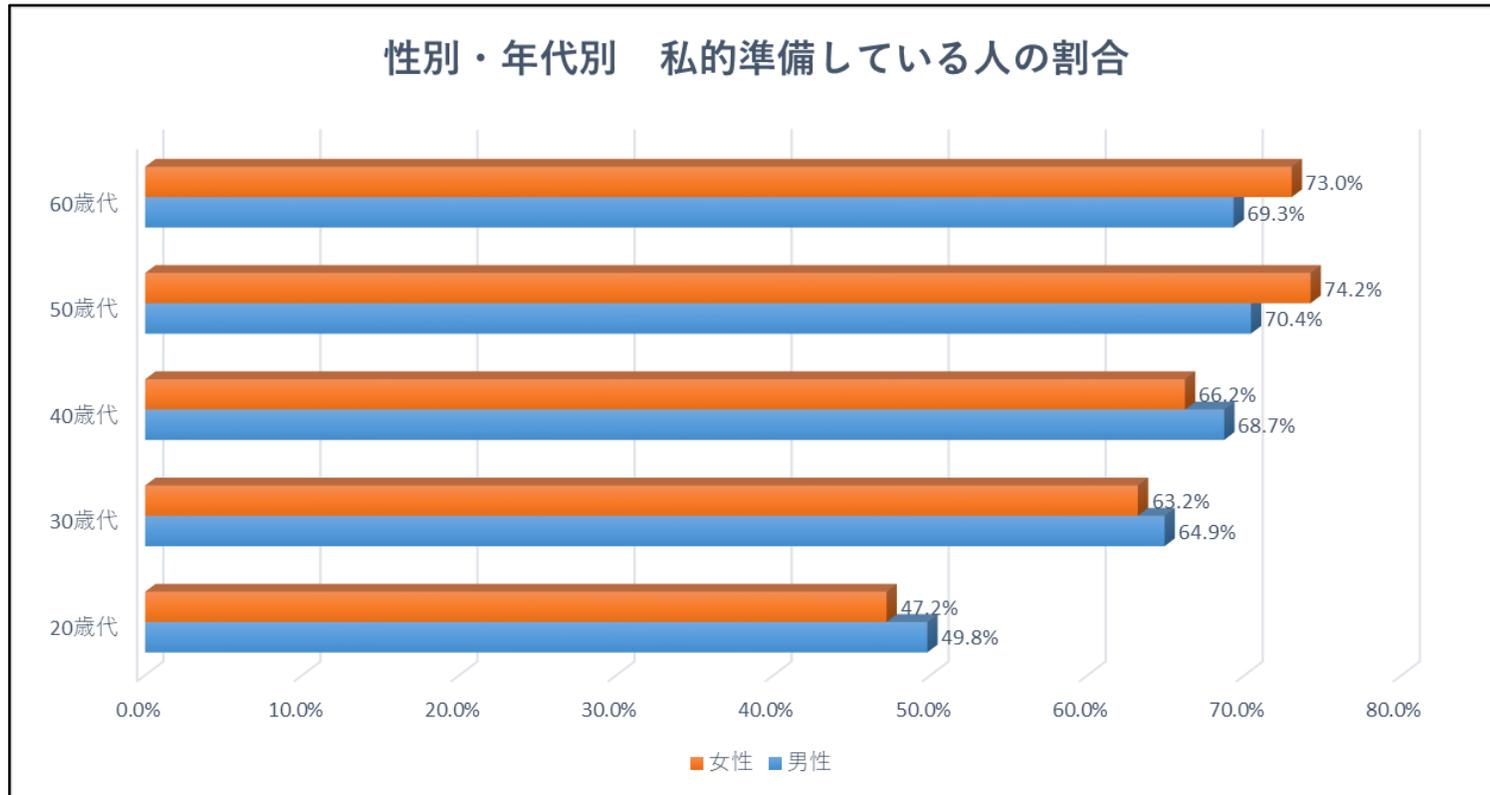
**運転者本人・配偶者  
限定特約で8%OFF**

実際に見積もり  
をした方のうち  
**約8割が加入!**

## 6. セカンドライフ資金の準備

★さまざまナリスクがある時代で、年金だけで生活できる？

★貯蓄も含めて、セカンドライフにむけた資金準備は必要！



出典：生命保険文化センター「生活保障に関する調査／令和元年度版」



# 私的準備って、どうすればいいの？

## ★私的準備の具体的な手段って？



預貯金：49.2%



個人年金保険・生命保険：39.6%

出典：生命保険文化センター「生活保障に関する調査／令和4年度版（速報）」

## ★低金利の今、どうする？

預けたお金が倍になるまでの年数 **72の法則**

**$72 \div \text{金利} = \text{倍になるまでの年数}$**

【例①】 金利が6.0%の場合 ⇒ **12年**

【例②】 金利が0.002%の場合 ⇒ **36000年**

# ★ 「長期共済・税制適格年金」を賢く活用

長期共済も税制適格年金も、**退職後の年金のために在職中に掛金を積み立てる共済**です。

## 長期共済



退職のときの状況にあわせて年金種類(確定年金・終身年金)や年金年額を選択できる積立タイプの共済。(他にも、終身の医療保障・遺族(死亡)保障も用意しています。)

## 税制適格年金



組合員本人の年金に特化した積立タイプの共済。退職後のために積み立てる在職中の掛金は、個人年金保険料控除の対象になります。

現在の予定利率**1.25%**

※予定利率は今後変更となる場合があります。(固定利率ではありません)

**先に言っておきます。使わないのは本当にもったいない!!**

# 長期共済 おススメPOINT



①積立期間が長いほど「返戻率」が大きい

## 在職中積立金額例表

＝月払掛金：1口3,000円あたり＝

積立年数	掛金累計 (A)	積立金・ 解約返戻金 (B)	掛金累計に対する 積立金・解約返戻金の割合 (B)÷(A)
5年	180,000円	180,700円	100.39%
10年	360,000円	372,000円	103.33%
15年	540,000円	574,600円	106.41%
20年	720,000円	789,100円	109.60%
25年	900,000円	1,016,200円	112.91%
30年	1,080,000円	1,256,700円	116.36%
35年	1,260,000円	1,511,400円	119.95%
40年	1,440,000円	1,781,000円	123.68%

\* 積立期間5年未満の場合、現在の予定利率でも元本割れします。(△300円～△1,000円)

当資料は複製・複写を固く禁じます。また、当資料を使用しての募集行為は一切行えません。

# 長期共済 おススメPOINT



## ② 余裕資金ができたなら「随時払」

税制適格年金にも「随時払」あるよ

### 在職中積立金額例表

＝随時払掛金：100,000円あたり＝

積立年数	掛金累計 (A)	積立金・ 解約返戻金 (B)	掛金累計に対する 積立金・解約返戻金の割合 (B)÷(A)
5年	100,000円	104,000円	104.00%
10年	100,000円	110,000円	110.00%
15年	100,000円	117,000円	117.00%
20年	100,000円	124,000円	124.00%
25年	100,000円	131,000円	131.00%
30年	100,000円	139,000円	139.00%
35年	100,000円	147,000円	147.00%
40年	100,000円	156,000円	156.00%

\* 積立期間1年未満の場合、現在の予定利率でも元本割れします。

# 何事も早くはじめるのが“コツ”

掛金累計は  
同じでも…！  
【長期共済の場合】

例) 「15年間 × 2口6,000円」を積み立てたAさんと、  
「30年間 × 1口3,000円」を積み立てたBさんの場合

Aさん  
〈太く短く〉



Bさん  
〈細く長く〉



掛金累計は  
同じですが、  
積立金には  
10万7,500円の  
差が出ます。

# 長期共済 おススメPOINT



## ③退職後の保障選択は「年金給付」

積立金302万円で、15年確定年金を選択する場合



在職中の運用益が  
約50万円  
年金給付選択で  
約24万円  
トータル約74万円  
のプラス効果！

- \* 左図の金額は、概算の数字で試算したものです。
- \* 積立金や移行掛金、年金総受取額は、本資料作成時点での予定利率にもとづいて試算したものです。
- \* 予定利率等は将来変更となる場合があります。

# 税制適格年金 おススメPOINT



## ★在職中の掛金は「個人年金保険料控除」の対象

### 税制適格年金 月払5,000円コース：個人年金保険料控除を見込んだ実質積立額

積立年数	掛金累計 (A)	積立金・ 解約返戻金 (B)	個人年金保険料控除で 軽減される 税金の累計 (C)	軽減される税金を加算した 実質積立額 (D) (B + C)	掛金累計に対する 実質積立額の割合 (D)÷(A)
1年	60,000円	58,800円	4,550円	63,350円	105.58%
2年	120,000円	118,400円	9,100円	127,500円	106.25%
3年	180,000円	178,600円	13,650円	192,250円	106.81%
4年	240,000円	239,500円	18,200円	257,700円	107.38%
5年	300,000円	301,100円	22,750円	323,850円	107.95%
6年	360,000円	363,400円	27,300円	390,700円	108.53%
7年	420,000円	426,500円	31,850円	458,350円	109.13%
8年	480,000円	490,300円	36,400円	526,700円	109.73%
9年	540,000円	554,800円	40,950円	595,750円	110.32%
10年	600,000円	620,000円	45,500円	665,500円	110.92%
15年	900,000円	957,700円	77,000円	1,034,700円	114.97%
20年	1,200,000円	1,315,200円	108,500円	1,423,700円	118.64%
25年	1,500,000円	1,693,700円	140,000円	1,833,700円	122.25%
30年	1,800,000円	2,094,500円	171,500円	2,266,000円	125.89%
35年	2,100,000円	2,519,000円	203,000円	2,722,000円	129.62%
40年	2,400,000円	2,968,300円	234,500円	3,202,800円	133.45%

\* 「積立金・解約返戻金」は2022年12月現在の予定利率等にもとづき試算したものです。

\* 予定利率等は将来変更することがありますので、将来の支払額を約束するものではありません。

\* 軽減される税金の計算は以下の設定としました。

【積立年数1年～10年】

所得税率5%、住民税率10%、単年度あたりの軽減される税金4,550円。

【積立年数11年以降】

所得税率10%、住民税率10%、単年度あたりの軽減される税金6,300円。

当資料は複製・複写を固く禁じます。  
また、当資料を使用しての募集行為は一切行えません。

# 【参考】『じちろう共済』の掛金

＜試算条件：組合員本人（①は経過措置終了後の掛金）＞

①団体生命共済F型（600万円）＋25コース（日額5,000円）

②長期共済：月払1口3,000円、税制適格年金5,000円コース

## 【男性】

新規加入年齢	団体生命共済	長期共済	税制適格年金	合計月払掛金
36～40歳	2,500円	3,000円	5,000円	10,500円
41～45歳	3,030円	3,000円	5,000円	11,030円
46～50歳	3,330円	3,000円	5,000円	11,330円
51～55歳	4,920円	3,000円	5,000円	12,920円
56～60歳	6,610円	3,000円	5,000円	14,610円

## 【女性】

新規加入年齢	団体生命共済	長期共済	税制適格年金	合計月払掛金
36～40歳	3,000円	3,000円	5,000円	11,000円
41～45歳	3,320円	3,000円	5,000円	11,320円
46～50歳	3,640円	3,000円	5,000円	11,640円
51～55歳	4,180円	3,000円	5,000円	12,180円
56～60歳	4,900円	3,000円	5,000円	12,900円

※将来、制度改定等により掛金が変わる場合があります。

## ワンポイント・アドバイス①



“**お宝保険**”がある人は、よほどのことがない限り解約しない！

一般的に、終身保険（一生涯保障のある保険）、養老保険（満期金がある保険）、個人年金保険で、1996年3月までの予定利率が3.75%の保険を“**お宝保険**”と言います。

27年ほど前の保険ですが、ご自身で加入した記憶はなくても、もしかすると親が加入（あなたのために加入）している可能性も…  
一度確認してみてください。

## ワンポイント・アドバイス②



一般的に、保険・共済の変更や給付は**申請主義**です！

複数の保険・共済に加入している方は、保険会社等（コンタクトセンターやカスタマーセンターなど）の**連絡先をメモ**。

でも、生命・医療保障と損害補償の両方を取り扱う“じちろう共済”なら、**所属の組合（1カ所）で手続き**ができるので安心。

最後に、

★じちろう共済は、組合員が組合員のために作った制度

★利用できるのは、組合員だけだから掛金が割安

★制度を維持し、より良い制度にするのも組合員

★だからこそ、一人でも多くの仲間の結集が必要

自分と家族の生活を守り、より豊かな生活を実現するため、  
ともにがんばりましょう!!